

主体的・対話的で深い学びの研究・研修

現代社会はスピードを増しながら変化し続け、予測しにくい時代へと向かっています。今後ますますAI化が進み、職業も様変わりしていきます。当然、子ども達には、これからの社会を担っていくために身に付けなければならない「資質や能力」を育成することが望まれます。学校教育は、時代の要請に対応するための明確な手法を持たなければなりません。

本校では、27年度から次世代型教育推進センターの実践フィールド校として「主体的・対話的で深い学び」の研究に取り組み、3年目になりました。11月22日にはその成果を全国公開研究会で発信することになります。

今回の学習指導要領の改訂は、これらを踏まえ、教育課程編成の工夫や主体的・対話的で深い学びを通して、子ども達に資質や能力を育て、実生活や実社会に通用するよう考えられています。

そこで本校では、確かな学力を身に付けた子どもを育成するために、主体的・対話的で深い学びを推進すること。地域の自然と文化を大切に、故郷に誇りを持つ一小の育成を目指すこと。国語科と生活科や総合的な学習の時間の横断的な単元づくりに取り組み、「総合表現活動」と名付け、【生きてはたらく表現力】の育成すること。以上の3点に力を入れています。6月を「研修月間」とし、1～6年生とにこにこ学級で授業づくりを行いました。

1年生

「おきにいのばしょをしょうかいしよう」

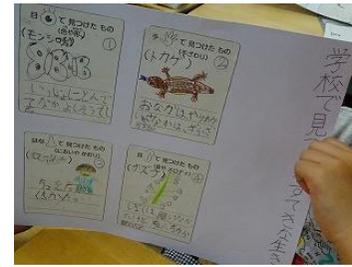
2年生に案内してもらった学校探検の中で自分のお気に入りの場所を決め、幼稚園のみなさんに絵と言葉で紹介する活動です。発表練習の様子と本番の様子です。



2年生

「好きなことをつたえよう」

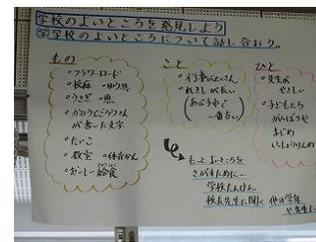
生活科の時間に校内を歩きながら動植物の変化を捉え季節を実感し、その中で自分がみつけたすてきな生き物を紹介する学習です。最後は全員が朝のスピーチで紹介します。



3年生

「一小的なものをしょうかいしよう」

総合的な学習の時間で「学校の魅力を発見しよう」という課題を追究しながら、一小到まつわる方々の話を聞きながら、自分だけの宝物を決めます。国語科で2年生に聞かせるための話の組み立て方や話し方を学びます。



4年生

「ようこそ 手賀沼写真展へ！」

昨年度上級生から聞いた手賀沼の発表を思い出し、自分が学習参観で保護者に説明したい写真を選びます。写真から読み取ったことを筋道立てて話せるようによい点・改善点を伝え合います。



教師見本



わかりやすいスピーチとは！

5年生

「すいせんしょう 我孫子ベスト3」

総合的な学習の時間で「我孫子PR大使になろう」という課題を設定し、通年で探究的な学習を行います。林間学校で同日に宿泊する他団体に、我孫子のよさを発信します。推薦する（ひとものこと）のよさが伝わるように、また、友達が納得するように話し合います。



6年生

「グループで話し合おう」

総合的な学習の時間では「魅力ある我孫子市をめざそう」を大単元として探究的な活動を行います。その中の一つが「3年生といっしょにブラあびこ」です。各々3年生に紹介したいポイントを4～5カ所持ち寄り、話し合いながらガイドする行程を一つにしぼります。



にこにこ学級

「てがぬま ふしぎ はっけん！！」

手賀沼に探検に行き、施設や自然とふれ合う中で興味を持ったり楽しかったりしたことを振り返ります。更に追究したいことが定まったところで第二次探検に行きます。個人のテーマに沿って手賀沼について調べたことを友達にわかるようにクイズ番組形式で発表します。

